

# 新居浜市政策懇談会 提言書

平成29年12月7日



「職員意識改革」  
に関する提言



## ◎はじめに

「効果・効率的な市役所の実現」のために、「職員の意識改革」について、次のとおり提言する。

### 1 「職員の意識改革」のうち、「人材の確保」について

#### (1) 試験制度見直しの検討と採用活動の積極的推進

民間企業の積極的な採用活動の影響で、公務員志望者が減少する中、柔軟な発想や挑戦する意欲のある人材を採用できるように、受験要件や試験内容、試験日程など、採用試験全般の見直しを検討するとともに、就職説明会を開催するなど、積極的に採用活動に取り組むこと。

### 2 「職員の意識改革」のうち、「人材の育成」について

#### (1) 研修等による職員育成の推進

日々の業務の中で、常に問題意識をもって課題解決に取り組むことができるように、課題発見力や課題解決能力を身に付けるための、効果的な研修に取り組むこと。

## (2) 組織ぐるみの改善運動の推進

各職場において改善運動に取り組むことにより、その成果（小さな成功体験）の積み重ねが、「常に問題意識を持ち、自らが前向きに取り組む姿勢」の定着につながっていくことから、組織として改善運動に取り組むこと。

## 3 「職員の意識改革」のうち、「人材の評価」について

### (1) 人事評価制度の見直し

本市が求める職員像である「チャレンジ精神旺盛で、コスト意識を持ち、時代に即応してチェンジできる、3C職員」を育成し、職員の成長につながる人事評価制度となるように、職種、職層ごとに評価項目をはじめ、評価全般を見直すこと。

## ◎おわりに

効果・効率的な市役所の実現には、職員の意識改革、職員一人一人の不断の努力が必要不可欠であるという事を申し添えた上で、以上、提言する。

「健康寿命の延伸」  
「子育て支援の充実」  
に関する提言





## ○はじめに

市民誰もが、健康で生きがいのある暮らしを実感することができるまちづくりを実現するために、本市では、市長公約において「健康寿命の延伸」と「子育て支援の充実」の2項目を重点項目に掲げて、様々な取組を行っている。

今年度、これまでの政策懇談会における提言を実現した「健康ポイント助成事業」や「ウォーキング推進事業」などの実施状況等を踏まえて、さらに効果効率的な事業実施を目指すことを確認した。

これからも、子育てのしやすい環境の整備、健康長寿社会の実現を推進し、「健康で、生きがいのある暮らしの実現」のために、「健康寿命の延伸」、「子育て支援の充実」について、次のとおり提言する。

## 1 健康寿命の延伸

### (1) 高齢者の生涯を通じた自立につながる介護予防事業の推進

ア 住民主体による健康長寿地域拠点において、正しく効果的に「にいはま元気体操介護予防編(PPK体操)」ができるよう、市民リーダーを育成する等、より効果的な事業の推進を図ること。

イ リハビリテーション専門職等の意見を交えて介護予防事業全体を評価し、個々の事業の関係を見直すことで、バランスの取れた介護予防事業実施体制の充実強化を図ること。

### (2) 若い世代への食育の推進

若い世代に食に関する正しい知識を身につけたり、調理体験をする場を提供し、若い世代の食育を推進すること。

### (3) 喫煙・受動喫煙の防止

新居浜市医師会を中心に、禁煙イベントの開催や児童生徒、若年女性の喫煙防止・禁煙指導、屋内完全禁煙店の推進といった取組を行っており、今後とも、医師会等の関係団体と協力し、

健康寿命の延伸に不可欠な取組である「喫煙・受動喫煙の防止」に向けて、市民一人一人がタバコの害に対する正しい知識を持てるよう、情報提供、啓発活動を推進すること。

## 2 子育て支援の充実

### (1) ニーズに応じた一時預かりサービスの拡充

急な用事や短時間の利用、0歳児からの受入れ等の様々なニーズに柔軟に対応できるよう一時預かりサービスを拡充すること。

### (2) 第1子からの紙おむつの支給

第2子目以降の出生意欲を高めるためにも、紙おむつを第1子目から支給し、子育てを応援すること。

### (3) 親子の関わり・子どもの発達、成長を促すような相談体制の強化

少子高齢化や地域のつながりの希薄化により、不安や負担、孤立感を感じる妊産婦が増えていることから、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談支援体制を強化すること。

#### (4) 保育士不足への対応

保育士の処遇改善、I C T化の推進による業務の負担軽減、保育士配置の弾力化等、国の施策の着実な推進及び潜在保育士の掘り起し等、保育士の確保に向けた各種施策に取り組むこと。

## ○おわりに

以上の提言に取り組むことによって、健康長寿を実感できるまちづくり、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりの実現が図られることを切に望むものである。

特に子育て支援の充実においては、直接声をあげることが難しい若い世代が直面している深刻な課題を真摯に受け止め、丁寧な対応を行うことにより「子どもを産み育てやすい新居浜市」を強くアピールすることができるようなまちになることを期待する。

なお、検討過程において今後将来を見据えた課題としてとらえた項目については、今回は提言に至らなかったが、行政において引き続き検討することを希望し、以上、提言する。



「防災・減災対策の強化」  
に関する提言





## ◎はじめに

「安全で快適に暮らせる都市の実現」のために、「防災・減災対策の強化」について、次のとおり提言する。

### 1 「防災・減災対策の強化」について

#### (1) 新居浜市の避難所を充実させるために

避難所には、幼児、妊婦、高齢者、障がい者など様々な条件の方が集まる。プライバシーの問題や、避難所での運営上の決め事など、不便な生活を少しでも向上させるため、地域の特性を踏まえながら地域住民が意見を出し合い、避難所運営を行っていく必要がある。避難所運営マニュアルの作成にあたっては、様々な立場からの意見を反映させるため、学校施設管理者、公民館、地元自治会、地元の防災士など地域の声を集約できるよう、検討すること。

#### (2) 自主防災組織の活動の充実について

地域の防災・減災力の向上、意識の高揚のため、地域の防災士

の養成にあたっては、違った立場からの見方が必要であり、また地域の若い力が必要であるため、これまでの新居浜市連合自治会への協力依頼に合わせ、女性団体や学生等への防災士養成講座受講の働きかけを行い、女性・若年層の更なる養成を行っていくこと。

### ◎おわりに

防災・減災対策の強化のためには、市民一人一人、地域の防災意識の高揚と、自分たちでできる備蓄や家屋の耐震対策・家具の固定等が重要となります。これらの市民への啓発と、事業の継続・充実が必要不可欠であるということを申し添えた上で、以上、提言する。

「地域コミュニティの再生」  
に関する提言



## ◎はじめに

人口減少、少子高齢化が進む現代社会において、「自立・連携する協働社会の実現」のために、「地域コミュニティの再生」について、次のとおり提言する。

### 1 「地域コミュニティの再生」について

#### (1) コミュニティ活動に参画しやすい環境づくり

自治会活動の中で行政等から依頼している業務内容やその効果等について見える化を図り、自治会加入促進につながるよう自治会加入のメリットや地域とのつながりの重要性を積極的に広報すること。

#### (2) コミュニティ活動の広がりのためのネットワークづくり

交付金事業については、その事業目的や事業効果を再認識し、少子高齢化の時代に見合った身近なつながりが実感できる小さなコミュニティを対象としたり、地域の様々な団体との協働を支援するなど緩やかな繋がりを大切にしながら、横の関係を強化するなど、ネットワークづくりの強化について検討すること。

### (3) 継続的なコミュニティ活動を支える人づくり

継続的なコミュニティ活動を展開する上で、役員の負担感の軽減を図るため、それぞれの校区の実情に合わせた事業の見直しを行ない、役員の担い手不足や人材育成、持続可能な組織づくりにつながる交付金の効率的な活用について検討すること。

### ◎おわりに

地域コミュニティの再生を推進するためには、少子高齢化の時代に見合った事業への見直しが必要不可欠であるということを申し添えた上で、以上、提言する。

「ごみ減量化の推進」  
に関する提言





## ◎はじめに

「地球にやさしい暮らしの実現」のために、「ごみ減量化の推進」について、次のとおり提言する。

### 1 ごみ減量化の推進

#### (1) 家庭系ごみの減量の取り組み

家庭ごみの減量のためには、まずは、燃やすごみの減量に取り組むことが重要である。このため、燃やすごみに混入されている古紙類とプラスチック製容器包装の分別徹底や、生ごみの水切り徹底などに一層取り組み、燃やすごみの減量とリサイクル率向上施策の強化を検討すること。また、直接搬入ごみの減量は、有料化や民間リサイクル処理への誘導も含め、総合的に対策を検討すること。

#### (2) 事業系ごみ減量の取り組み

事業系ごみは、事業者自らの排出抑制を促し、民間リサイクル処理へ誘導することが必要である。このためには、手数料の改定が有効であるが、排出事業者に理解を求めつつ、段階的に

処理経費に見合った処理手数料の改定を検討すること。

## 2 広報・啓発の強化・充実

ごみ減量化・3Rの推進は、何より市民へ理解を求めることが重要であり、広報・啓発は、あらゆる施策に優先して取り組むべきである。このため、これまでの広報手段のみならず、広報・啓発予算を十分に確保し、ごみ分別大辞典の全戸配布、テーマを絞った広報、子供も含めた世代のターゲットを絞った参加しやすい場での啓発、ごみ処理経費やリサイクルに関する情報の提供など、市民意識の向上を狙うインパクトのある効果的な広報・啓発施策を、市民とともに展開できるよう検討すること。

### ◎おわりに

「地球にやさしい暮らしの実現」のため、ごみの減量や分別の徹底を市民一人一人が実践することが重要であるが、次世代に負担を残さず、美しい環境を未来の子供たちに残すという視点を市民と共有し、公民館や自治会、市民活動団体と協働して取り組むことが必要不可欠であるということを申し添えた上で、以上、提言する。

「産業を支える人づくり」

「観光・物産の振興」

に関する提言



◎はじめに

「活力ある産業活動の実現」のために、「産業を支える人づくり」及び「観光・物産の振興」について、次のとおり提言する。

## 1 「産業を支える人づくり」について

### (1) 小中学生や高校生等のものづくり魅力啓発事業の拡大検討

現在も小中学生や高校生等を対象に、「ものづくり人材育成推進事業」を実施しているが、地元企業への就職率向上を目的に、学生の就職に関する意識改革、地元企業とのつながりや愛着を醸成するため、新たに地元企業と連携して、ものづくりに関するコンテストの実施や工業高校における新居浜の「おみやげ」作り、また小中学生を対象とした就職に対する意識づけを行うための授業、工場見学等を実施するなど事業の拡大を検討すること。

### (2) 市外・県外高校卒業生を対象とした新規雇用推進事業の検討

市内中小企業の人材確保が大きな問題となっている中、市外の高校生などの新規採用の強化を図るため、民間による賄い付き独身寮の設置に対する支援や、市県外の首都圏等に就職する傾向の

高い地域における就職説明会の開催など情報発信について検討すること。

### (3) ものづくりプロジェクト映像資料化の検討

現在、機械産業協同組合青年部が取り組んでいるマイントピア別子観光列車の製作過程を映像化することにより、ものづくりを目指す人材の養成及び子ども達に夢やプライドを持ってもらうことに繋がるとともに、観光素材としても活用できることから、映像資料化の支援を検討すること。

### (4) ものづくり企業における若手技能者の育成支援の検討

ものづくり企業の人材育成を図るため、新入社員研修（「安全衛生教育」と「法定特別教育」）の実施に対して引き続き支援を行うとともに、新入社員研修後のフォローアップ（「初級講座」や「中級講座」）研修への参加企業には、「中小企業振興助成制度」を活用いただくようPRを強化する。また、東予東部3市（新居浜市・西条市・四国中央市）の連携による支援についても検討すること。

## 2 「観光・物産の振興」について

### (1) 新居浜市わがまち魅力発信事業の検討

新居浜市の知名度向上と、入込観光客数の増加を図るため、大都市圏で観光・物産PRを行う必要がある。そのため、首都圏等で開催される展示会への出展支援やふるさと観光大使の積極的な活用を検討するとともに、魅力発信事業として、広島のマツダスタジアム等でのプロ野球公式戦において、観光・物産展や試合前と試合中にスタジアム内の大型ビジョンでPR動画の放映を行うことを検討すること。

### (2) 新居浜市の新たな観光の切り口の検討

新居浜市の観光の新しい切り口とするため、ヴァーチャルリアリティ技術（VR）や情報技術などのデジタルテクノロジーを活用し、既存店舗や観光産業との融合による新居浜の観光デジタル化戦略を検討すること。

### (3) 新居浜の名物料理、ご当地グルメの検討

「新居のいもだき」、「ふぐざく」等シーズン料理が名物として

知られているが、新たに年間を通して、市民や観光客が親しめる名物料理、ご当地グルメを確立することにより、飲食の活性化を図るため、別子山の媛っ子地鶏等を使った鍋料理等の開発及びPRを検討すること。

#### (4) 新たな体験型観光と工都にいほまのお土産創出事業の検討

本市における観光客の滞在時間の延長、新たなお土産品の創出、さらには、新居浜ブランドの確立を図るため、新居浜発展の礎を築いた別子銅山の石（ズリ）を使った「新居浜硝子（ガラス）」の商品化と新居浜硝子を使ったグラスなどへの彫刻体験等新たな体験型観光メニューを検討すること。

#### (5) 銅婚の里ブランド化事業の検討

本市の観光誘客への動機付けとして、別子銅山が持つ銅のイメージと銅婚式を全国に向け情報発信し、銅婚の里ブランド化を推進している。そのため、銅婚式や別子銅山の認知度の向上は不可欠であり、銅婚の里ツアーを開催するなど、その発信に努めている。あわせて、マイントピア別子では、銅婚の里モニ



ュメントの設置や銅細工体験コーナーを新設するなど、新たな取組も進める予定である。引き続き、銅婚の里のブランド化に寄与するため、お土産品の開発や新たな誘客手法など銅婚の里ブランドの諸施策を検討すること。

#### (6) インターネットサイト「こんかいや！新居浜」の検討

本市においてもふるさと納税の申込みが増加しており、本市の観光・物産の振興及び本市への就職促進を図ることを目的に、ふるさと納税、シティプロモーションなど様々なインターネットサイトがあるが、ふるさと納税の返礼品、本市の就職情報及び観光情報が閲覧できるサイトの作成について、既存のものを活用する方法も含め検討すること。

#### ◎おわりに

「活力ある産業活動の実現」は、本市が目指す「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」の実現を図るための重要課題であるということを申し添えた上で、以上、提言する。



「駅周辺施設の整備」  
に関する提言



## ◎はじめに

「安全で快適に暮らせる都市の実現」のために、「駅周辺施設の整備」について、関係団体に所属する若者、高校生・高専生の意見として、次のとおり提言する。

### 1 「駅周辺施設の整備」について

#### (1) 関係団体に所属する若者が考える駅周辺施設の整備

今後の新居浜市は、『人が集まるまち』になることを目指す必要がある。そのために駅周辺には、イオンと競合しない施設の誘導が必要である。具体的な施設としては、駅周辺という地理的なメリットを生かし、

- ・出張者が JR の待ち時間をつぶせる空間（座ってパソコン等が利用できる施設や Wi-Fi 環境の整備）
- ・子供が遊べる空間
- ・飲食店や地元産の商品を売る店
- ・緑地広場（将来的に必要な施設を建設する場合に、その空間を利用できる）
- ・雨の日や、団体も体を動かせることのできる施設

- ・ 駅南に抜けることができる改札

などを配置することを検討すること。

## (2) 高校生・高専生が考える駅周辺施設の整備 (その1)

今後の新居浜市は、『人が集まるまち、安心して暮らせる環境』を目指す必要がある。そのために駅周辺には次のような施設が必要である。

- ・ シンボリックな施設 (新居浜タワーなど: 災害時には情報表示)
- ・ すごすぎる体育館+スポッチャ
- ・ 遊べる温泉施設 (水着で入れる、滑り台がある、etc.)
- ・ コンサートやイベントができるドーム (災害時は避難所)
- ・ 芝公園+農業公園 → 地産地消へ
- ・ 待ち時間をつぶせるカフェ併設の図書館
- ・ 大型立体駐車場
- ・ 南北をつなぐ地下道路

などを配置することを検討すること。

## (3) 高校生・高専生が考える駅周辺施設の整備 (その2)

今後の新居浜市は、『やみつきになるまち～若い人で賑わうまち～』を目指す必要がある。

そのためには、お母さんに優しい施設、手軽に・気軽にリフレッシュできる施設などが必要であると考えます。具体的な施設としては、

- ・ スポッチャ+プール（楽しく体を動かしたい）
- ・ 公園+その周辺にテイクアウトできる飲食店
- ・ 自由に使える施設（勉強、仕事・・・Wi-Fi,電源完備）
- ・ 親が安心して子供を一時的に預けられる施設&交流の場などを配置することを検討すること。

## ◎おわりに

「安全で快適に暮らせる都市の実現」のためには、若い人たちの力が必要であり、その若い人が元気になれるまちづくりが必要不可欠である。そのため、「駅周辺施設の整備」を検討するに当たっては、今後の新居浜市を担う若い人の意見も取り入れながら検討を進めることも、必要である。また、施設整備に当たっては、アクセス道路についても同時に考慮する必要があるということを示し添え

た上で、以上、提言する。



10年後、20年後の新居浜市が・・・

目指すまちの姿  
(こんなまちだったら  
いいな)

人が集まるまち



そのために必要な  
施設は・・・  
施策は・・・

大型商業施設の誘導は検討しない  
(イオンと競合するため)



駅周辺(駅南)には

- 出張者がJRの待ち時間をつぶせる空間  
(座ってパソコン等が利用できる施設やWi-Fi環境の整備)
- 子供が遊べる空間
- 飲食店や地元産の商品を売る店
- 緑地広場  
(将来的に必要な施設を建設する場合に、その空間を利用できる)
- 雨の日や、団体も体を動かせることのできる施設
- 駅南に抜けることのできる改札

視点

遊び、公共性、生活  
仕事、観光 など

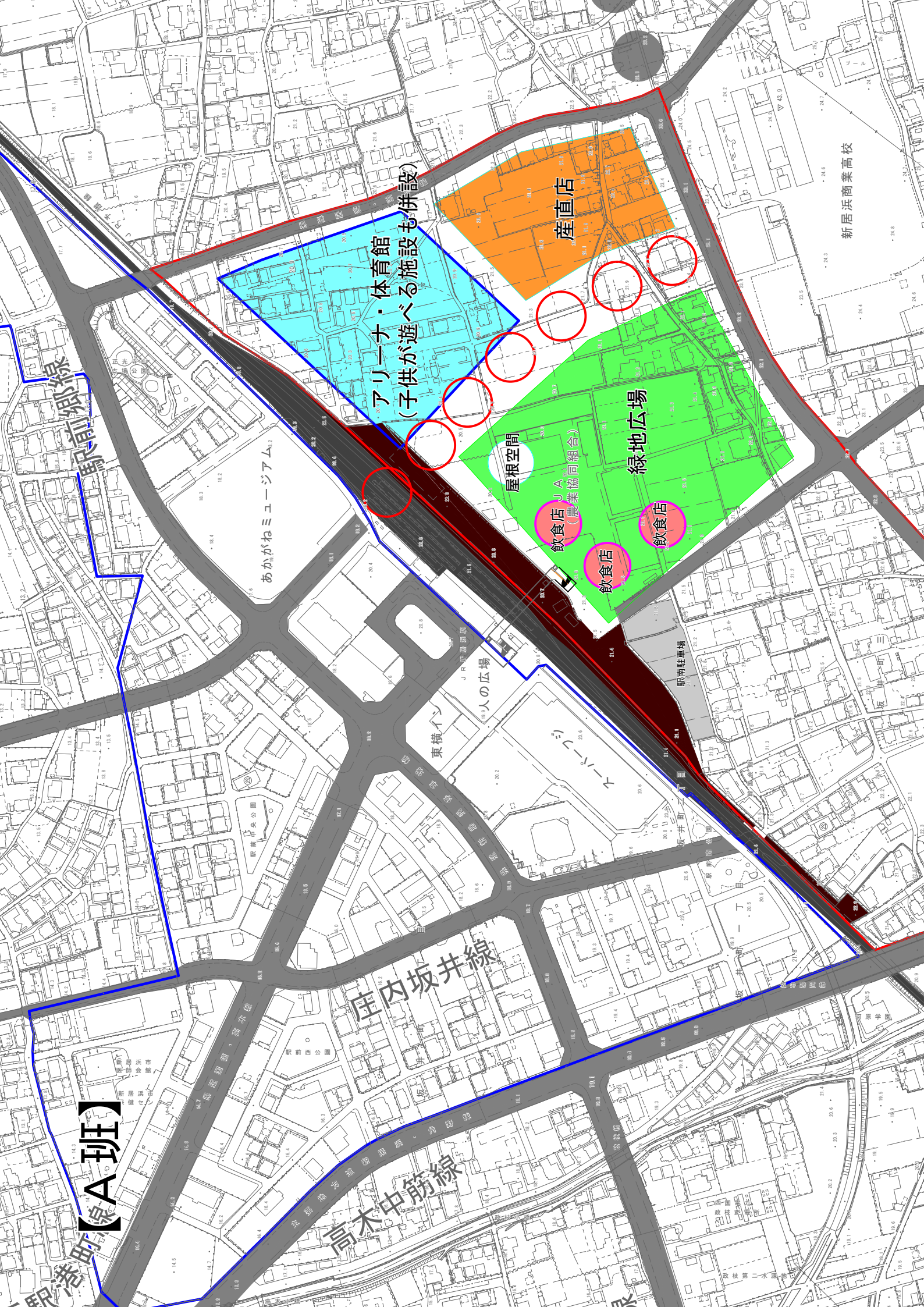
人口減少  
他市との連携 など

文化施設・体育施設  
福祉施設・教育施設  
商業施設 など

コンパクトなまち  
公共交通  
アクセシビリティ など

その他のところ

- 大学、専門学校
- 企業



アリーナ・体育館  
(子供が遊べる施設も併設)

産直店

緑地広場

屋根空間

飲食店  
JA  
(農業協同組合)

飲食店

飲食店

あかがねミュージアム

東横イン

99人の広場

駅前駐車場

【A班】

庄内坂井線

高木中筋線

新居浜商業高校

馬前郷線



# 10年後、20年後の新居浜市が・・・

目指すまちの姿  
(こんなまちだったら  
いいな)

人が集まるまち、安心して暮らせる環境

- ・人が集まるまち (また来たい)
- ・住みたいまち
- ・安心して暮らせるまち (老若男女とも)
- ・常に変化するまち



そのために必要な  
施設は・・・  
施策は・・・

- ・リラックス&遊べる温泉施設
- ・コンサートができる会場 (非常時には避難施設にもなる)
- ・すごい体育館 (遊び&ガチ) 大会も可能! 4階建て
- ・シンボル施設
- ・地産地消の飲食店&さまざまな飲食店(バイキングなども)



## 駅周辺(駅南)には

- ・新居浜タワー-----218.0m
- ・(情報表示 災害時にも利用できる)
- ・すぐすぎる体育館+スポッチャ
- ・遊べる温泉施設(水着で入れる、滑り台がある、etc.)
- ・コンサートやイベントができるドーム(災害時は避難所)
- ・芝公園+農業公園 → 地産地消へ
- ・待ち時間をつぶせる カフェ併設の図書館
- ・飲食店(地元食材で)
- ・大型立体駐車場
- ・南北をつなぐ地下道路

## 視点

遊び、公共性、生活  
仕事、観光 など

人口減少  
他市との連携 など

文化施設・体育施設  
福祉施設・教育施設  
商業施設 など

コンパクトなまち  
公共交通  
アクセシビリティ など

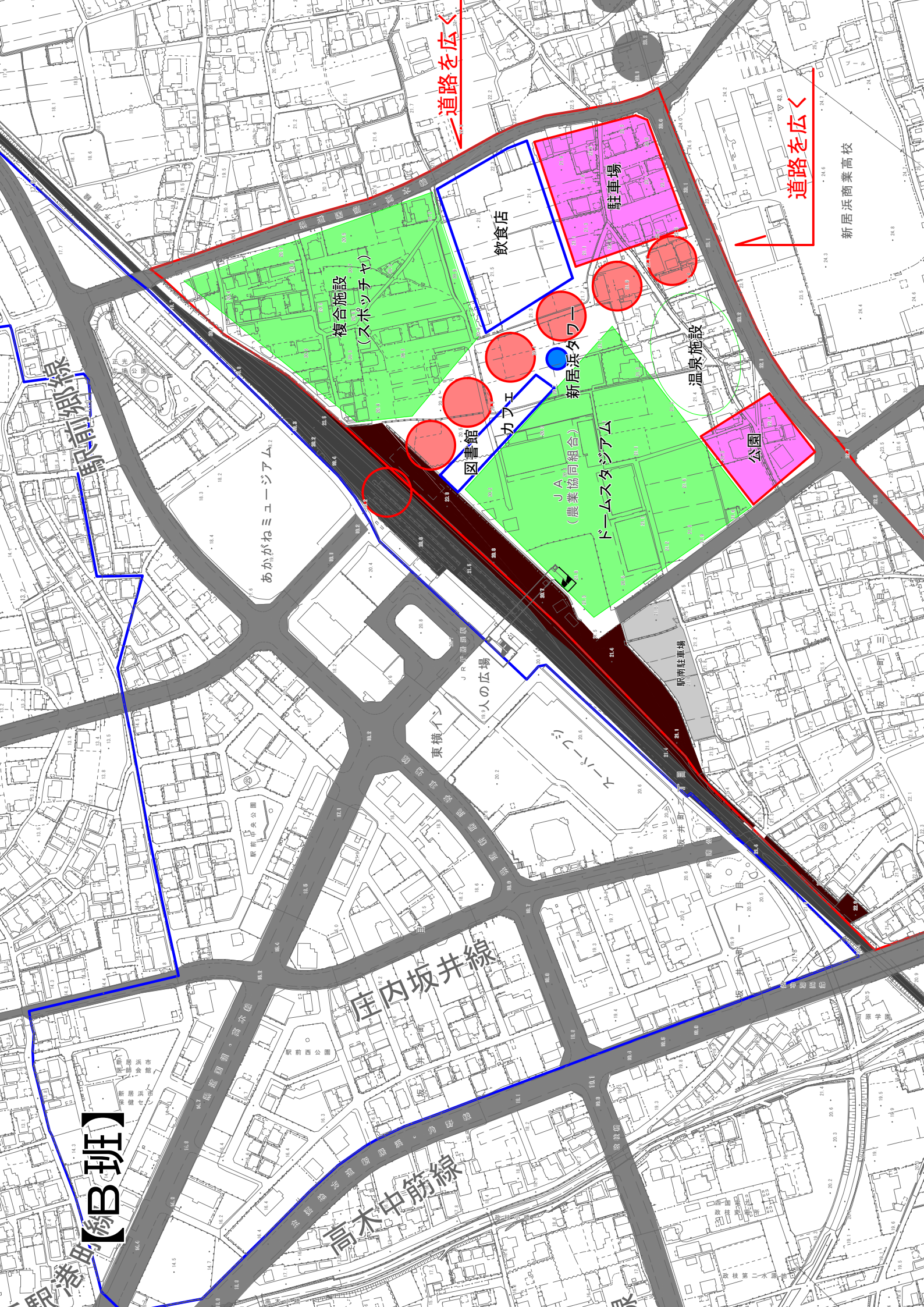
## その他のところ

- ・文化センター  
(大きなステージ)

【B班】

道路を広く

道路を広く



高木中筋線

庄内坂井線

東横イン  
JR 東横線  
駅前広場

複合施設  
(スポットチャ)

飲食店

駐車場

新居浜タワー

温泉施設

公園

ドームスタジアム  
JA (農業協同組合)

あかがねミュージアム

新居浜商業高校

馬前郷線



10年後、20年後の新居浜市が・・・

目指すまちの姿  
(こんなまちだったら  
いいな)

やみつきになるまち  
～ 若い人で賑わうまち ～



そのために必要な  
施設は・・・  
施策は・・・

お母さんに優しい施設  
手軽に・気軽にリフレッシュ  
テーマパーク  
イオンとは違うショッピングモール



駅周辺(駅南)には

スポッチャ! + プール(楽しく体を動かしたい)  
公園+その周辺にテイクアウトできる飲食店  
自由に使える施設(勉強、仕事・・・WiFi,電源完備)  
親が安心して子供を一時的に預けられる施設&交流の場

その他のところ

水族館  
遊園地

視点

遊び、公共性、生活  
仕事、観光 など

人口減少  
他市との連携 など

文化施設・体育施設  
福祉施設・教育施設  
商業施設 など

コンパクトなまち  
公共交通  
アクセシビリティ など

【C班】

# WiFi

自由に使える空間  
イオンとは違う  
ショッピングモール

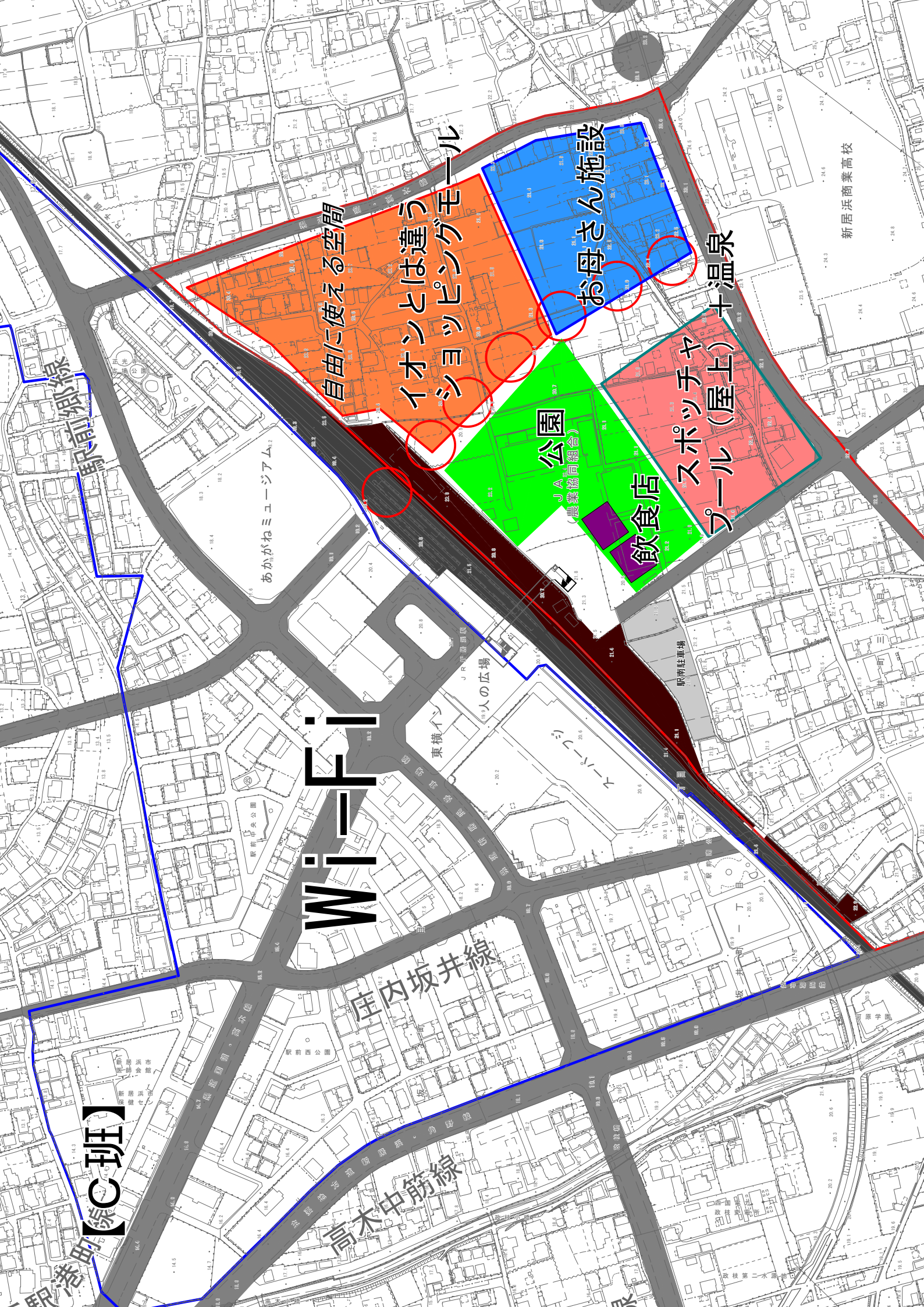
お母さん施設

公園  
JA  
農業協同組合

飲食店

スポーツチャ  
プール (屋上)

温泉



新居浜商業高校

東横イン

JR 鶴岡頭駅

駅前駐車場

高木中筋線

庄内坂井線

馬前郷線

あかがねミュージアム

新居浜商業高校

「特色ある学校づくり」  
「芸術文化・スポーツの振興」  
に関する提言





## ◎はじめに

「市民の力が育まれ、継承される社会の実現」のために、「特色ある学校づくり」、「芸術文化・スポーツの振興」について、次のとおり提言する。

### 1 特色ある学校づくりの推進

特色ある学校づくりの推進には、統合型校務支援システムの導入やICTを活用した授業改善など、ICTの積極的な導入等により教職員が子どもたちの教育に向き合う時間を十分に確保することが必要不可欠である。また、小中一貫教育や体験活動の充実等についても、調査研究を進めていく必要がある。

#### (1) コミュニティ・スクールへの転換と充実

「開かれた学校」から「地域とともにある学校」に歩みを進めるため、学校運営協議会を全小中学校に設置し、地域社会全体で力を合わせ「連携・協働」し、子どもたちを育む地域学校協働活動（地域学校協働本部）の推進を望む。また、これらの取組を効果的かつ円滑に進めるための調整役（コーディネータ

一役) を担う地域学校協働活動推進員の育成と配置を望む。

## (2) スクールソーシャルワーカーの活用

スクールソーシャルワーカーを「チーム学校」に明確に位置づけ、社会福祉の専門性を活かした児童生徒や保護者との相談業務や、課題を抱える児童や家庭に積極的にアプローチを行えるアウトリーチ型の学習相談・学習支援の充実を望む。また、支援にあたっては、スクールソーシャルワーカーだけでなく学校やPTA、医療等の関係機関との連携体制を構築して対応し、課題の早期解決と合わせて学校や教員の業務改善が図られることを望む。

## (3) 読書に親しむまちづくりを目指して

子どもたち自らが薦める本の紹介文やリストなどにより、学校や家庭で本に親しみ興味関心を高める読書活動や本について話し合う機会を増やし、コミュニケーション力を育てることを望む。また、各学校に校務支援システムを導入し、学校と図書館を連携させるなど、子どもたちの読書への興味関心を高め

る環境推進を望む。

## 2 芸術文化の振興

文化芸術の振興には、平成27年度のオープンから2年が経過したあかがねミュージアムの市民への更なる周知、特に子どもたちが気軽に集い、学ぶ拠点として、若い世代の関心の高い事業を展開していく必要がある。

また、その実現のため、文化振興計画など本市の文化振興に対する方針を明らかにすることなど、長期的かつ積極的な政策が必要である。

### (1) 小中高等学校と連携した施策の実施

子どもたちにあかがねミュージアムを身近に感じてもらうため、体験型遠足、見学、活動発表など学校行事での施設の利用や、学校教育内での芸術に直接触れるプログラムや郷土資料を活用したふるさと学習、伝統文化プログラム等が提供されることを望む。また、学校単位であかがねミュージアムを訪れるためのバス借り上げや、芸術（美術）の教科カリキュラムとし

て、学芸員による展示作品等の解説を行うなど小中高生が本物の芸術と出会える機会の充実を望む。

## (2) 文化芸術プログラムの充実

あかがねミュージアムが、人々が集い新たな文化を生み出すにぎわいの拠点となるよう、市民が芸術を身近に感じ、気軽に参加できるプログラムや、幅広い世代を対象とした魅力ある企画展、体験講座などの芸術文化プログラムを充実することを望む。また、市内出身のアーティストなどを応援するイベントの開催や、活躍状況などの情報把握をするための人材バンクの設置、ネットワーク化など、新居浜市出身の芸術家の支援・育成のための取組の充実を望む。

## (3) 地域と連携した文化発信事業

共生社会の実現に向けて、障がいの有無等に関わらず誰もが安心して参加でき、楽しみ、豊かな心を育める芸術文化交流事業の実施を望む。また、校区の特色ある発表会やイベントなどをあかがねミュージアムで開催し、市民に親しみのある施設と

しての認知度の定着・向上を望む。

### 3. スポーツの振興

スポーツの振興には、「第五次新居浜市長期総合計画」「新居浜市スポーツ推進計画」を踏まえ、計画的な振興施策を確実に実行していくことが必要であり、「えひめ国体」「えひめ大会」を通じて培われた競技力の向上や市民意識の醸成など、国体レガシーを一過性のものとすることなく次世代まで継承していくことも重要である。また、市内高等学校の甲子園出場など、子どもたちや市民が夢や目標を持てるような取組の推進も必要である。

#### (1) 生涯スポーツの推進

障がいの有無や運動の得手不得手に関係なく、すべての子どもたちや市民が様々なスポーツに気軽に取り組み、親しむための環境づくりとして、バリアフリー化や老朽化対策など施設や器具・遊具等の更新や、予約システム、スポーツ・デー導入などの環境整備を進めるとともに、今後、地域の関係団体と連携して総合型地域スポーツクラブの立ち上げに向け

た検討を進めることを望む。また、新居浜市の代表として、全国大会等への出場を目指す部活動や選手の競技力向上に向けた支援の充実を望む。

## (2) 各種スポーツ大会開催

体育施設や宿泊等関連施設の総合的な広報や競技場へのアクセスの円滑化、学校行事等との調整等を進め、高カテゴリの大会や親子で楽しめる大会、幼少期から親しめるなわとび大会など、各種スポーツ大会の開催を望む。また、総合運動公園構想の具現化に向けて、早期に基本計画等の策定を進めることを望む。

## (3) 高校スポーツの支援

甲子園出場など子どもたちや市民の夢や目標となる市内の高等学校の運動部の強化に向けて、体育施設の優先利用や優秀な指導者の配置の要望、強化指定事業などの成果を踏まえた効果的な拡充を望む。

また、トップアスリート育成・確保に向けて、一定期間を

見据えた支援環境の整備や養成プログラムの実施、スポーツ選手の高等学校卒業後の進路（就職先・進学先）や移住促進等の取組についても進めていくことを望む。

## ◎おわりに

「市民の力が育まれ、継承される社会の実現」を目指すためには、新居浜のこれからを担う子どもたちの教育環境を十二分に充実させることはもちろん、子どもたちだけでなく市民全体が豊かな感性や心身の涵養、充実した市民生活のための教育・文化芸術・スポーツの振興が不可欠である。

また、子どもたちの夢を育むためには本物と出会う機会や地元で力を発揮する機会の創出も不可欠であり、今年度開催された国体は大きなきっかけとなった。今後日本で開催されるオリンピックも見据え、今回の国体で培われたものを更に大きなものへと育むことが求められている。スポーツだけでなく学校教育や文化芸術についても同様である。

市民の力を育成する教育・芸術文化・スポーツ政策の充実は、

現在直面している様々な課題はもちろんのこと、長期的な視野に立って進めるべき新居浜市の最重要課題であることを申し添えた上で、以上、提言する。